

森とおる NEWS

住所 南大塚 2-6-12
電話 03(6912)0135

甘い!?! イケバスの収支計画

200円~800円の運賃で年間38万人超の乗車を見込む

目撃者から驚きの声

年末にイケバス（IKE BUS）の運行が始まり、たくさんの方から「奇妙なデザインに驚いた」「ほとんど人が乗っていない」「コミバスが実現するものと思っていたのに違っていた」と質問や意見が私に寄せられています。中にはズバリと「いったいいくらかかっているのか？ 税金の無駄遣いだ」という指摘もたくさんあります。

区民の願いに背くバス

イケバスは高野区長が提唱する文化の一連で「単なる移動手段ではなく、観光利用を主たる目的とし、豊島区のみちの魅力、価値向上の取り組みで導入する」というものです。

区民からの「他区が運行しているコミバスを豊島区でも実現してほしい」という、これまでの請願・陳情にみられる願いに背を向けるものです。

私が議会で訴えた事

①速度を時速19kmに抑えることで法の安全基準を緩くし、衝突実験していない車両は都心では危険。②バッテリー容量が少ないために冷暖房が無いのは問題外。③区民の要望を無視して高野区長が強行したことが大問題など、議会で再三取り上げ撤回を求めてきましたが、日本共産党を除く議員の賛成により運行されてしまったのです。

区分	一回券		3時間券		一日券		二日券	
	大人	子ども 高齢者 障がい者	大人	子ども 高齢者 障がい者	大人	子ども 高齢者 障がい者	大人	子ども 高齢者 障がい者
運賃(円)	200	100	300	100	500	250	800	400
想定割合(%)	2	3	27	3	53	2	8	2
販売数(人/日)	21	32	285	32	559	21	84	21
収入小計(円/日)	4,200	3,200	85,500	3,200	279,500	5,250	67,200	8,400
運賃収入(年)	166,604,250円/年(456,450円/日×365日)							
貸切バス(年)	19,800,000円/年(5,500円×10h×360日)							
広告収入(年)	29,400,000円/年(別紙1参照)							
年間収入計	215,804,250円/年							
年間支出	214,000,000円/年							
年間収支	1,804,250円							

(注1)

(注2)

※高齢者は、シルバーパスなどの提示を想定
 ※障がい者は、障がい者手帳を提示頂いた方が対象
 ※子どもは小学生以下が対象（未就学児は無料）

【資料：豊島区が提示した「運賃および収支見込み」】

《内訳》
 事業者運営経費 1億5,800万円
 車両経費 2,000万円
 誘導員 3,300万円(5名)
 (運行開始後、安全を確認しながら人員調整)
 PR経費 300万円

過大な乗車数見込み

この表は豊島区が示したイケバスの運賃と年間の維持管理費の収支見込みです。区はこれまでも支出と運賃収入は均衡を図ると言っていた通り、180万円の赤字としています。

(注1) 一年間の乗車数は38万人超とされ運賃収入は1億6660万円です。一回券は大人200円ですが子どもなどを含めた販売数は一日53人と少なく見積もり、多いのは3時間券300円、一日券500円、二日券800円で合わせて千人超です。甘すぎる見込みで、机上で赤字にするための、つじつま合わせと言っても過言ではなく、この収支計画では62便運行する全バスは常に満席にならなければならない計算です。

(注2) 貸切バスの収入も大きく、年間1980万円です。これは1時間あたり5500円の料金に、一日10時間もの契約が360日間も設定されています。また広告収入も2940万円が計上されています。

こうした収支が計画通りに行くのか注視しなければなりません。赤字になったら安易に税金をつぎ込むことは許されません。すでにバス10台購入し、バス停の設置費、随意契約した著名な工業デザイナーへの支払いなど何億円の初期費用は税金から支払われているのです。

(裏面もご覧下さい)